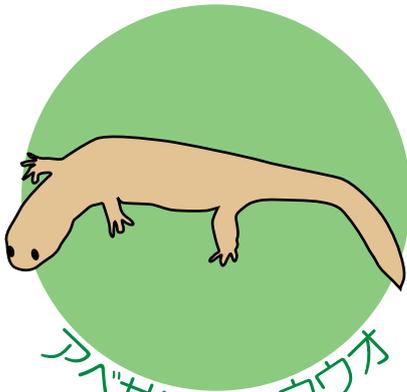
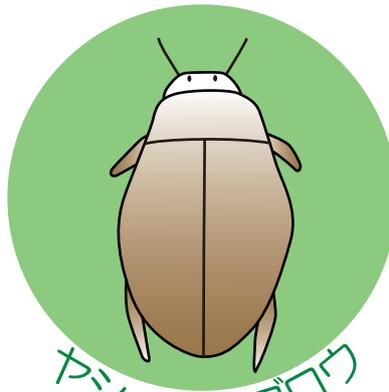


# 中部地方の 貴重ないきものたち

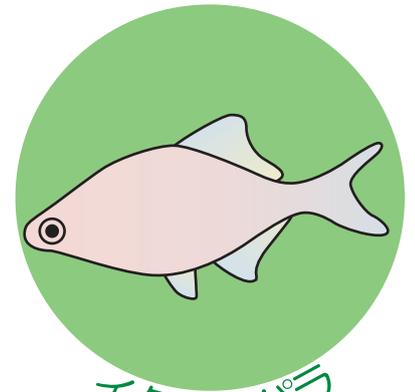
ここでは中部地方環境事務所が現在保護増殖事業を行なっている種を紹介します



アヘサンショウウオ



タシャゲンゴロウ



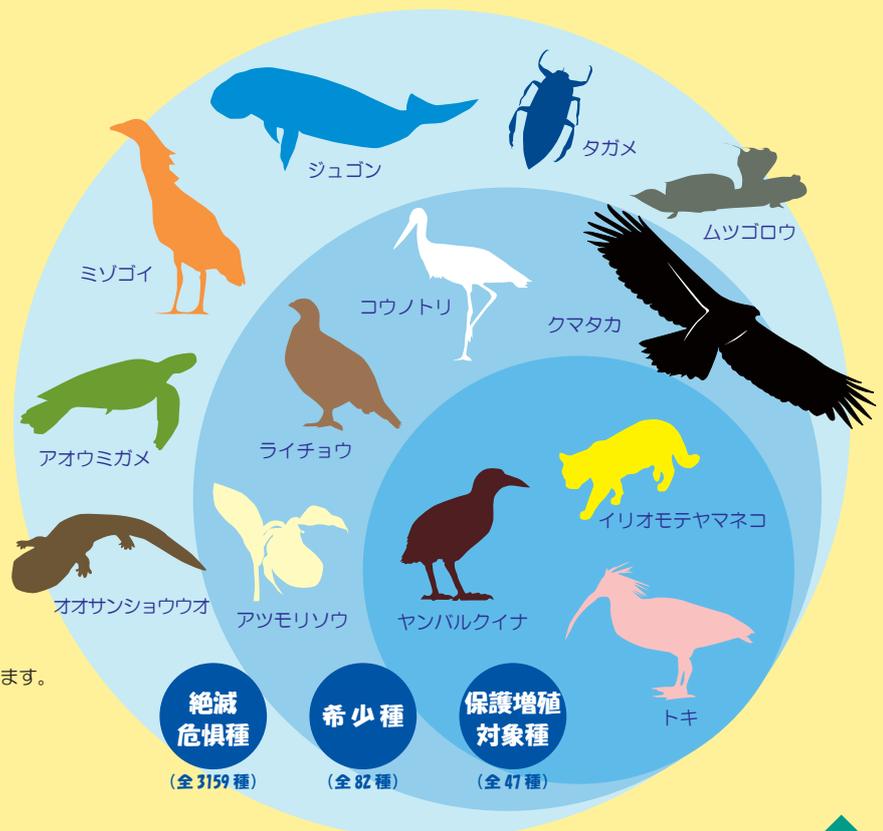
イタセンパラ

## 【保護増殖事業】

環境省では絶滅のおそれのある種をレッドリストに掲載し、その中のいくつかの種を「種の保存法※1」で「希少種※2」として指定しています。希少種のうち特に保全が必要な種に対して保護増殖事業を行なっています。

※1「絶滅のおそれの野生動植物の種の保存に関する法律」  
 ※2「国内希少野生動植物種」

中部地方とは、富山・石川・福井・長野・岐阜・愛知・三重の各県をさします。



地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

❄️ 真冬に生まれる貴重な命 ❄️

# アベサンショウウオ



オス (ひれ状になる尾が特徴)



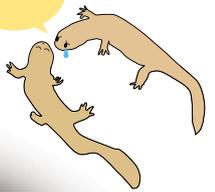
メス

ぜつめつきぐしゅ  
絶滅危惧種 I A類

「ごく近い将来に絶滅する危険あり」

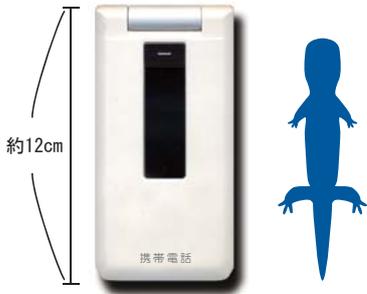
きれいな湧き水ときれいな森がないと生きられない。両生類は環境の変化にとっても弱いんだ。

自然がこわされると  
ダメなの・・・



## 大きさ

体長：8～12cm



## 生息地

日本でここだけしかないんだ。

石川県・福井県・兵庫県・京都府の一部の地域



## こんないきもの

真冬の夜に生まれる不思議な生態。



## まめちしき

「阿部さん」という学者の名前からつけられたアベサンショウウオ。でも発見したのは何と小学生！湿った森の、たった100m四方の中でミミズなどを食べながら暮らしている。最近、福井県で新たな生息地が発見されてきているよ。でも、水と陸の両方が必要だから、水辺のコンクリート化やダム工事などで環境が分断されると数が激減してしまう。福井県ではアベサンショウウオが産卵する湧き水の水溜りを整備したりして保護活動を行なっているんだ。

# 地球上でただひとつの池にすむ ヤシャゲンゴロウ



成虫



夜叉ヶ池

ぜつめつきぐしゅ  
**絶滅危惧種 I 類**

「絶滅の危機に瀕している種」

福井県南越前町にある夜叉ヶ池にしかいないヤシャゲンゴロウ。陸に上がってマユを作るから、池のまわりの環境も大切なんだよ。

## 大きさ

体長：14.5～16mm



## こんないきもの

水の中からいったん陸に上がって羽化をしてまた水の中にもどるんだ。

## 生息地

たったひとつの池にしかいないんだ。

福井県と岐阜県の境にある夜叉ヶ池



### ①産卵

水辺の木のわれ目や草の間にメスが卵を生みます。

### ②ふ化

卵からかえった幼虫は自分で水に入って、オタマジャクシやミジンコなどを食べて成長します。

### ④マユ作り

サナギになるために穴をほり、土を丸めてマユを作ります。

### ③脱皮

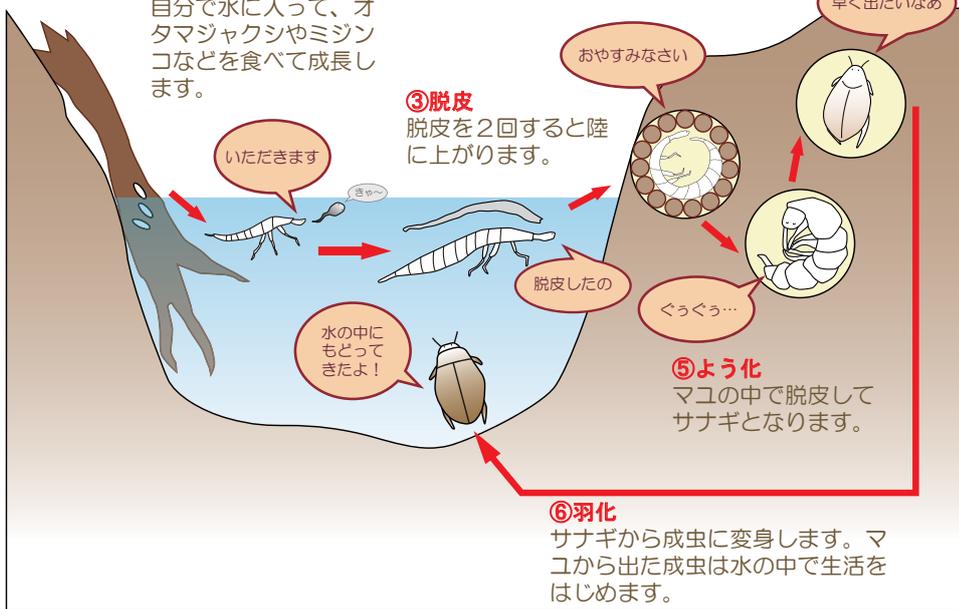
脱皮を2回すると陸に上がります。

### ⑤よう化

マユの中で脱皮してサナギとなります。

### ⑥羽化

サナギから成虫に変身します。マユから出た成虫は水の中で生活をはじめます。



## まめちしき

夜叉ヶ池は雨水と雪解け水だけでできていて、魚が1匹もないんだ。近くには湿地や池があるけど、ヤシャゲンゴロウは夜叉ヶ池だけにしかいない。その理由はわかっていないんだ。ミジンコなどを食べて水の中で大きくなった幼虫は、土でマユを作ってサナギになるために陸に上がる。だからやわらかい土のある環境が、池のまわりに必要なんだよ。

夜叉ヶ池に何かあったら大変！ということで自然保護管理員の人などがパトロールをして守っているんだ。ほかにも環境省では飼育して増やす取り組みを行なっている。手探り状態ではじまった飼育も4年目には、たくさんの成虫が羽化するまでになったんだ。ヤシャゲンゴロウは多くの地元の人たちに守られているんだよ。

# イタセンパラ



婚姻色の鮮やかなオス



産卵管の伸びたメス

ぜつめつきぐしゅ  
絶滅危惧種 I A類

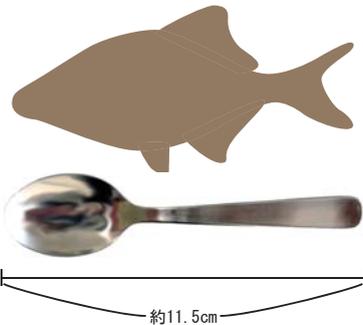
「ごく近い将来に絶滅する危険あり」

板のように平らで鮮やかなお腹を持つことからこの名前がついたんだよ。

川の流れのない場所に住んでいて二枚貝の中に卵を産む「たなご」の仲間なんだ。

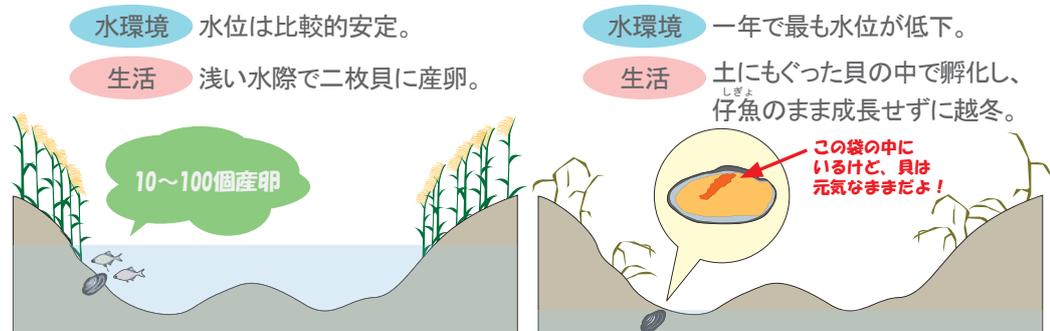
## 大きさ

体長：10cm前後



## こんないきもの

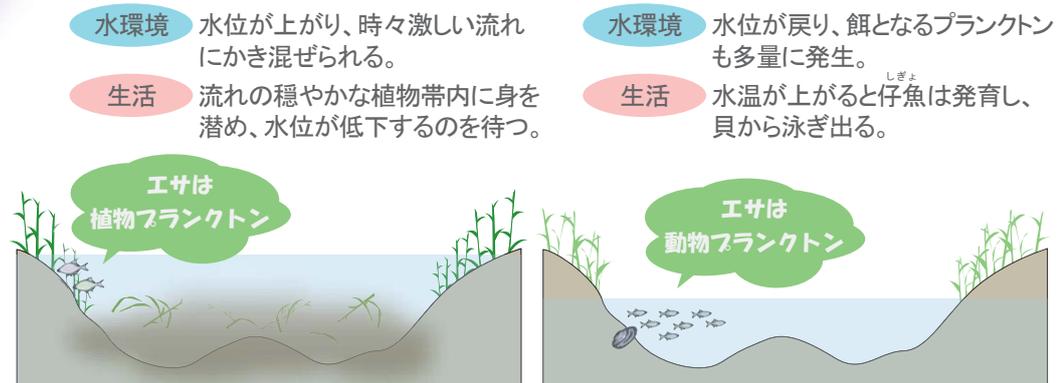
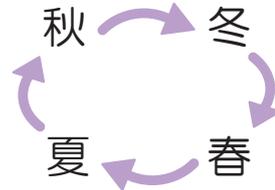
貝をゆりかごにする変わった習性。



## 生息地

「たなご」の中でもイタセンパラはとて少ないんだ。

濃尾平野・富山平野・大阪平野の一部の地域



## まめちしき

イタセンパラは自分の住む川の貝を「におい」で見分けられるんだ。貝に赤ちゃんを守ってもらうから貝のいる環境がとても大切なんだよ。

最近、絶滅したと思われていた木曽川で生息を確認することができた。そこで、密漁を防ぐための取組みや飼育するための研究が行なわれるようになったんだ。イタセンパラは貝と一緒に育てるので飼育はとても難しいんだけど、成功すれば保護への大きな一歩になるよ。